

穴見陽一 FAX通信

「世界秩序の揺らぎ」

3月になりました。私のブログも2月はお休みしてしまいました。申し訳無く思っています。実は、国会が始まったばかりで、今国会がどのような動きになって来るのかが明確にならなかった事と、トランプ政権が不確定要素ばかりで、アメリカ合衆国共和党首脳や様々な専門家達も未だに今後のアメリカがどうなっていくのか殆ど占う事が出来ずにいるからです。私としても悪戯に憶測を巡らせて皆さんを混乱させたくもありません。メディア等はむしる様な憶測を飛ばして注目を集めるいい機会になっているのかも知れませんが、責任ある立場としては、なかなか物が言いにくい環境ではないかと思えます。

プに一喜一憂しています。トランプに隠れて、実はEUの後がどうなるかという重大な問題がなかなか浮かび上がってきませんが、実はEUも今年の各国の選挙結果次第では崩壊への序曲が始まりかねない状況です。そうなると世界のグローバル自由主義経済にとって、大きな痛みと転換を迫られる事態になりかねないのです。その時、日本も大変厳しい立場に立たされかねません。安倍総理は今や実は世界のリーダー達から頼りにされるリーダーとして、これまでの世界秩序の守護者として八面六臂の活躍を、とりわけ外交の場で発揮されています。

日本も世界も今だトラン

EUの揺らぎとトランプの誕生と保護主義の台頭の原因は、新興国の台頭と、先進国中間層の没落である事

が、ハッキリしてきました。先進国中間層の恨み節がこれまでの世界秩序を揺さぶっています。日本国内の格差問題は、先進国全てに共通した悩みなのです。

むしろ日本は2008年の政権交替とその失敗によってワクチンが生成された為、先進国としては異常な程の政治的安定がもたらされているとの意見も国際的な研究者達から指摘されてもいます。とはいえ、日本国内も根本的な中間層没落に対する対策が奏功している訳ではなく、まだまだ暗中模索のただ中にあります。そういう意味ではアベノミクスは充分に成功しているとは言えません。ただ、先進国の中では政治的安定を維持していることそのものでは、優位に立っているとは言えそうです。

進国中間層の没落である事

先進国国内での格差拡大による社会の分断を回避する為には、新たに多様で付加価値の高い産業への転換を早急に進めることと、税制や社会保障制度の再分配機能を強化して、生産性を高めながら格差縮小を実現する為の大胆な対策が必要です。産業や企業の新陳代謝も進む必要があります。今政府が進めようとしている政策ラインナップは、明確にこの目的に向かっていますが、まだまだ大胆さとスピードが足りません。しかし、加速すれば社会がついて来れないでしょう。難しい舵取りです。

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebook アドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

穴見陽一

後援会 事務所

